

直近の世論調査から－2019.10.8（シナリオ通りに内閣支持率51.7%に）

1 内閣支持率は前月比▼0.4%減の51.7%だが、内閣改造後の調査では上昇傾向

① 9月の主要な政治ニュースは11日に発足した第4次安倍改造内閣。先月、自身の結婚で世間の注目を浴びた小泉進次郎衆議（38歳）が戦後3番目の若さで環境大臣として初入閣するなど、全閣僚19人のうち17人が交代する大規模な改造となった。しかし、この間、度重なる放言などで世間の不評を買った麻生財務大臣と

**小泉進次郎の入閣(環境相)に**

	賛成・評価	反対
JNN9.9	61	19
毎日9.16	64	23
読売9.16	69	20
ANN9.16	78	16
FNN9.16	74.1	15.2
平均	69.2	18.6

**橋本五輪相の起用に**

	評価する	評価しない
読売9.16	69	18

**河野防衛相の起用に**

	評価する	評価しない
FNN9.16	54.2	23.1

**菅官房長官の留任について**

	評価する	評価しない
読売9.16	69	20
FNN9.16	72.5	13.8
平均	70.8	16.9

**小泉新大臣に期待するか**

	期待する	期待しない
共同9.13	74.0	20.1

**もっとも期待する閣僚は？**

FNN9.16	①小泉 48.9	②河野 9.3
	③茂木 5.4	④橋本 3.3
	⑤麻生 2.1	⑥菅 1.2

また影の総理とも言われる菅官房長官は留任、ポストの横滑りや再入閣も多く、自民党三役人事でも二階幹事長、岸田政調会長が留任するなど、政権の屋台骨は変わらなかった。

閣僚の評価では、やはり小泉氏に対する期待が大きく、5社調査平均で今回の入閣に「賛成・評価」が69.2%、共同調査で「期待する」が74%、FNN調査で「もっとも期待する閣僚」に断トツトップの48.9%となった。開催まで1年を切った東京オリンピック・パラリンピックの担当大臣には橋本聖子参議を起用し、その評価も読売調査で69%と高い。この間、韓国との外交でタカ派的印象が強まった河野元外相の防衛相起用も「評価する」がFNN調査で54.2%と一定の支持を受けている。さらに、菅官房長官の留任については、

**内閣支持率**

9月	支持	不支持
日経9.13	59	33
毎日9.16	50	28
読売9.16	53	35
朝日9.17	48	31
共同9.13	55.4	25.7
時事9.13	43.1	34.1
NHK9.9	48	33
JNN9.9	57.0	38.7
ANN9.16	52.0	27.9
FNN9.16	51.7	31.9
平均	51.7	31.8
8月平均	52.1	33.4
前月比	-0.4	-1.6

**内閣支持率**

8月	支持	不支持
日経9.2	58	33
毎日		
読売8.26	58	30
朝日		
共同8.20	50.3	34.6
時事8.17	47.0	30.8
NHK8.6	49	31
JNN8.5	60.1	37.0
ANN8.20	48.1	32.4
FNN8.6	46.6	38.1
平均	52.1	33.4
7月平均	48.9	35.0
前月比	3.2	-1.6

「評価する」が2社調査（読売、FNN）で70.8%と高い。

9月の内閣支持率は、51.7%と前月比で▼0.4%減となったが、このうち、内閣改造後に調査を実施し、かつ前月と比較可能な（毎日、朝日除く）5社をみると、読売を除く4社（日経、共同、ANN、FNN）で支持率は上昇している。

②また、内閣改造で力をいれてほしい政策をNHK、共同、日経、FNN、ANNの5社が調査しているが、いずれもトップは年金など社会保障制度となっている。安倍首相は内閣改造直後の11日の記者会見で「全世代型社会保障検討会議」を内閣官房において議論することを表明、20日には第1回会合が開催された。共同の調査ではこの会議に「期待する」が53.7%と半数を超えている。

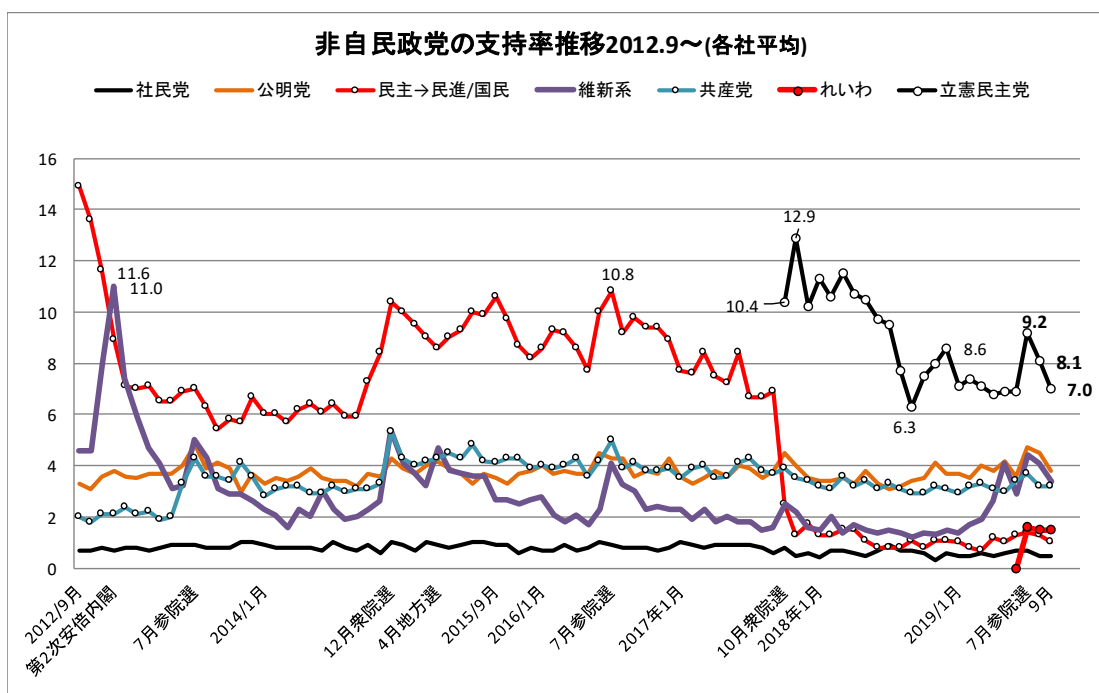
黄セルは内閣改造9.11後調査

③安倍首相のいう「安定と挑戦の内閣」改造は、傍からみれば代り映えのないメンバーと思えるものの、これまで内閣を支持してきた層に根差しつつ、小泉氏や橋本氏の人気をア

内閣改造で力を入れて欲しい政策		FNN9.16	
NHK9.9	①社会保障 28	①社会保障 34.0	
	②景気対策 20 ③財政再建 15	②経済対策 22.6 ③子育て・少子化 13.0	
	④外交安全保障／格差是正 11	④外交・安全保障 12.8 ⑤財政再建 6.1	
	⑥憲法改正 5	⑥憲法改正 4.7	
共同9.13	①年金・医療・介護 47.0	ANN9.16	①年金・社会保障 26
	②景気・雇用対策 35.0	②経済対策 16 ③外交安全保障 14	
	③子育て少子化 25.7 ④憲法改正 5.9	④教育・子育て対策 12 ⑤消費増税 9	
日経9.13	①社会保障 46	⑥原発対策／財政再建 5 ⑧憲法改正 4	
	②景気回復 39 ③外交安全保障 37	<b>政府の新社会保障制度改革対策会議</b>	
	④教育の充実 29 ⑤財政再建 28		
	⑥政治・行政改革 15 ⑦憲法改正 11		
		期待する	期待しない
		共同9.13	53.7 36.9

クセントに、社会保障不安もキャッチアップしたというところでは、組閣時点では、準備周到、よく練られたシナリオと言わざるを得ない。ただ、一方で小泉氏への風当たりも強まっていることや新内閣の本格始動は10月4日から始まった臨時国会からであり、本当の評価はこれからだ。

## 2. 野党の支持率 立憲2か月連続の下落 統一会派の評価は・・・



④ 政党支持率は前月比で大きな変動がなかったが、そのなかでも立憲は▼1.0減の7.0%といくぶん振れ幅が大きく、7月参院選後から2か月連続で下落した。

先月から

衆議院(2019.10.1現在)

会派名	議員数
自由民主党・無所属の会	285
立憲民主・国民・社保・無所属フォーラム	120
公明党	29
日本共産党	12
日本維新の会	11
希望の党	2
無所属	6
欠員	0
計	465

た。これで衆院会派「立憲民主・国民・社保・無所属フォーラム」が120人、参院会派「立憲・国民・新緑風会・社民」が61人で発足、野党第一会派として一定のまとまりはできた。

⑤しかし、本調査会の先月8月調査でも紹介したとおり、立憲と国民の衆参会派合流あるいは再結

話題に上っていた「立憲と国民の会派合流構想」は、9月19日、野田佳彦元総理大臣が代表を務める衆院会派「社会保障を立て直す会」も含めて衆参両院で会派を合流することで合意、27日にはすでに参院会派では立憲と統一会派を組んでいた社

民が今回の衆院統一会派に加わることを決め

参議院(2019.10.3現在)

会派名	議員数
自由民主党・国民の声	113
立憲・国民・新緑風会・社民	61
公明党	28
日本維新の会	16
日本共産党	13
沖縄の風	2
れいわ新選組	2
碧水会	2
みんなの党	2
無所属	5
欠員	1
計	245

**立憲と国民との衆院会派合流**

	評価する	評価しない	どちらとも
朝日9.17	38	36	45
NHK9.9	19	27	

**立憲と国民の再結集の動きに**

	賛成	反対	どちらとも
時事9.13	20.3	31.6	48.1

集に世論は微妙な受け止めだ。9月も会派合流への「評価する」が朝日 38%、NHK19%、立憲・国民の再結集への動きに「賛成」が時事 20.3%で肯定的回答は少ない。ただ、NHKと時事調査では「どちらとも言えない」がそれぞれ 45%、48.1%を占めており、必ずしも否定的に捉えているわけではない。旧民主党がカタチを変えただけでまた結集するということでは賛同を得られない、ということなのだろう。

⑥ 30日に党大会を開催した立憲は、「政権構想の検討に関する代表直属チームの設置」を方針に掲げ、「次の衆院総選挙を見据え、政権構想の本格的な準備を、急ぎスタートさせる。そのため、代表自身がイニシアチブをとった直属チームを設置し、過去の政権運営の反省を含めた様々な問題を整理することから、周到かつ慎重に準備を進め、文字通り政権の『構想』を進めていく」とのことである。

⑦ 第2次安倍政権が始まってから7年ほどの間、旧民主党勢力は党名など手を変え品を変えながら世論の支持を取り付けようとしてきたが、10%そこそこの支持率を天井に上

**政党支持率**

9月	自民	立憲	国民	公明	共産	社民	維新	れいわ	N国	支持なし
日経9.13	47	7	1	4	3	1	2	2	1	29
毎日9.16	34	8	0	5	2	0	5	2	0	36
読売9.16	38	5	1	5	4	0	2	1	1	39
朝日9.17	37	7	1	3	3	1	3	1	0	35
共同9.13	47.7	10.0	1.5	3.3	3.1	0.9	2.8	3.4	1.1	23.9
時事9.13	25.9	4.1	0.6	3.5	2.0	0.5	1.8	0.8	0.5	58.5
NHK9.9	37.3	7.2	0.7	2.6	3.4	0.2	3.2	0.6	0.2	37.1
JNN9.9	37.9	6.5	1.2	2.9	3.7	0.4	4.5	0.6	0.3	38.0
ANN9.16	46.9	7.0	1.7	5.4	5.2	0.5	4.3	1.1	0.7	26.1
FNN9.16	39.5	8.6	1.4	3.5	2.7	0.6	5.1	2.2	1.2	32.0
平均	39.1	7.0	1.0	3.8	3.2	0.5	3.4	1.5	0.6	35.5
8月平均	38.1	8.1	1.3	4.5	3.2	0.5	4.1	1.5	0.9	34.8
前月比	1.0	-1.0	-0.3	-0.7	0.1	0.1	-0.7	-0.1	-0.3	0.6

下動を繰り返すに止まっておろ、このままでは、安倍・自民党政権に對抗する支持

を取り付けられないのは明白だ。こうしたなかで、少し遅かったような気もするが、立憲がもう一度、過去を振り返りながら、新たな『構想』を提示する決定をしたことに期待したい。自民党と何が違うのか、また、一定の支持を集め始めた“れいわ”とはどこが違うのか、旧民主の何を変えるのか、考え方を明確にしてほしい。その上で、野党間の連携ができれば、“野合”とも“安倍批判のための批判勢力”と揶揄されることも少なくなるだろう。7月の参院選でも老後の年金不足問題がクローズアップされたが、立憲は社会保障課題に対する具体的政策に乏しく、この裏付けとなる財源問題、消費増税への対応も揺らいでいた（or これまでの立場とは違っていた）。スピードも大事だが、こうしたこともしっかり踏まえて、じっくり取り組む必要がある。

**3. その他・・・消費税など**

⑧ 10月からはじまった消費税 10%への増税は、日も浅く、生活にどのような影響をもたらしているのか、もたらしていくのか、現段階ではわからない。ただ以前から報道にあった軽減税率導入による混乱というものは、今のところ消費者側にあまり見受けられない。駆け込み需要も、3%→5%→8%へと引き上げがあったときに比べて特に強調するほど

**消費税10%後の経済への不安／影響**

	不安ある	不安ない
共同9.13	81.1	17.2
FNN9.16	59.4	37.3
平均	70.3	27.3
	影響ある	影響ない
日経9.13	71	27
毎日9.16	63	26
平均	67.0	26.5

賛成が多数となる傾向も出てきたようにも見える（日経など）。

消費税増税による経済への不安／影響は共同と FNN、日経と毎日で調査を実施しているが、「不安ある」「影響ある」が過半数を大きく超えている。今後、こうした心理や予想がどれほど実態経済に影響を与えていくのか、引き続き、状況をみていく必要があるだろう。

⑨ その他、日韓問題、憲法問題など 9 月の世論調査の結果は以下を参照してほしい。世論は韓国政府の動向を問題としながらも、このままの関係で良いと思っていない。憲法については、臨時国会の所信表明演説で安倍首相が憲法調査会での議論を促したが、歩調を合わせて地方議会でも議論を促す意見書採決の動きが強化されているようだ。

には起きていないようだ。毎日と時事の調査でも増税前に大きな買い物の「予定がある」は 20 %弱に止まった。

増税直前 9 月時点での消費税 10 %に対する賛否は 5 社平均で「賛成」44.4 %、「反対」47.6 %となり、賛成 4 : 反対 5 という（この 3 年間の）比率に基本的な変化はないが、既成事実の進行で、一部の調査は

**消費税10%増税前の大きな買い物**

	予定ある	予定なし
毎日9.16	16	75
時事9.13	18.4	77.1
平均	17.2	76.1

**今年10月に消費税10%にUP(賛否)**

	賛成	反対
JNN9.9	39	52
日経9.13	52	42
ANN9.16	44	48
朝日9.17	46	46
毎日9.16	41	50
平均	44.4	47.6

**現在の日韓関係についての懸念・心配**

	懸念・心配だ	していない
NHK9.9	68	24
朝日9.17	56	41
平均	62.0	32.5

**今後の日韓関係(改善)について**

	改善すべき	必要ない
JNN9.9	79	13
ANN9.16	62	29
毎日9.16	57	29
読売9.16	65	29
平均	65.8	25.0

**歩み寄るべきかその必要ないか**

	歩み寄るべき	その必要ない
NHK9.9	35	55
	対話努力を	その必要ない
毎日9.16	57	29

**安倍政権の韓国に対する姿勢を**

	評価する	評価しない
朝日9.17	48	29

**韓国はGSOMIA協定を破棄したが**

	理解できる	理解できない
JNN9.9	9	76

**韓国をホワイト国から除外したことに**

	支持する	支持しない
JNN9.9	59	24
毎日9.16	64	21
平均	61.5	22.5

**安倍首相の下での憲法改正**

	賛成	反対
共同9.13	38.8	47.1
朝日9.17	33	44

**首相は任期中に憲法改正国民投票**

	賛成	反対
日経9.13	58	32

**国会で憲法改正議論を活発にする**

	賛成	反対
ANN9.16	63	25
読売9.16	56	34
平均	59.5	29.5

**今の景気はどう思うか？**

FNN9.16 ①上向いている 4.8  
②横ばい 56.6 ③下降気味 37.0

**政府の景気対策は十分だと思うか**

	十分だ	そう思わない
FNN9.16	9.5	81.1

**日米貿易交渉での合意を評価するか**

	評価する	評価しない
ANN9.16	35	45

**ホルムズ海峡の有志連合(自衛隊派遣)**

	参加すべき	すべきでない
JNN9.9	29	55

**カジノを含む統合型リゾート誘致に**

	賛成	反対
朝日9.17	20	71

**NHKの「スクランブル放送」化に**

	賛成	反対
時事9.13	39.0	37.1

☆これまでのデータなどをホームページに掲載しています。自由にご利用してください。

<http://yoronmeeting2013.web.fc2.com/>

(北海道世論調査会まとめ 担当:Kawabata)